シニアファッションショー

シーン 1		
1-1	目覚め	四手井 梅子・藤岡 芳子・谷川 博造
1-2	朝のお散歩	村上 智恵子・山本 幸彦
1-3	ガーデニング	安達 幸枝・西川 来子
1-4	クッキング	山本 敏子・吉川 としえ・小山 益一
1-5	スポーツ	富田 健二・辰巳 千代子
1-6	夜のウォーキング	横尾 浩志
シーン 2		
2-1	ショッピング	森田 繁子・梅本 登志子・内藤 とみ・堀井 久子
2-2	ハイキング	植村 昌夫・小山 久子
2-3	ホテルでのお食事	大倉 洋子・西村 ちえ子・小澤 弘子
2-4	観劇	梅本 貞子・西村 勝子
2-5	旅行	石東 陽子・山本 静恵・西村 正一郎
シーン 3		
3-1	結婚式	堀井 久子・田中 善之助・梅本 貞子
3-2	フィナーレ	[出演者全員]

本番では堂々と演じられました。年輪を感じます。

舞台裏では緊張したミーティングやロータリアンの奉仕活動が続きます

ROTARY CLUB KYOTO-YAMASHINA
DISTRICT 2650

2006「生き生きシニア装いの集い」

おしゃれで 元気なシニアづくりのための
講演 & ファッションショー

日時：平成18年11月19日(日)　13:30～16:00
会場：京都市国際交流会館（左京区栗田口鳥居町2-1）
主催：京都山科ロータリークラブ
京都女子大学 家政学部 生活造形学科 泉研究室
後援：京都市・京都市教育委員会
協力：東山区シニアクラブ・山科区シニア有志・(株) ワコール

去る平成１８年１１月１９日（日）、京都山科ロータリークラブは京都市国際交流会館に於いて京都東山シニアクラブ・山科区のシニアクラブの方々並びにファッションセラピーを研究されている京都女子大学家政学部　泉加代子教授とその研究室の学生達と共に、「生き生きシニア装いの集い」というイベントを開催致しました。

これからの高齢化社会にむけて、ファッションの楽しみを通した健康づくりを提案、おしゃれが高齢者の生活の質を向上させることを目的として講演会と「介護予防」を目指したシニアファッションショーを企画し、シニアのモデル達が押し入れにしまい込んでいた着物や古着などを学生がデザインし仕立て直した服で、シニア有志がモデルを務めファッションショーを開催。モデルの年齢は63才～94才と幅広く、我がロータリークラブの会員もモデルとして出場しました。

当日はシニアのモデルさん27名、学生17名と共にRI第2650地区の平井義久ガバナーも出席頂き、京都山科R.C.会員全員参加の下、市民来場者300名、総勢400名を上回る参加者で、高齢者が自立した生活を送れるように、また、健康寿命を延伸させる為にも市民レベルでの啓発活動を実施し盛会の裡に終了しました。

「衣装あわせの日」

舞台と観客が一体となりました。

＊プログラム＊

13:30～ 開会の挨拶
京都山科ロータリークラブ会長 小山 信一

13:40～ 講演 「シニアのおしゃれと健康」
京都女子大学 家政学部 教授 泉 加代子

14:20～ 講演 「生き生きライフの インナーウェア レッスン」
㈱ワコール 総合プロデューサー 坂東 敬子

15:00～ （休憩）

15:10～ シニア・ファッションショー
モデル：東山区シニアクラブ・山科区シニア有志

15:55～ 閉会の挨拶
京都山科ロータリークラブ副会長 谷川 博造

生き生きポーズ 63～94歳モデル

左京で装いの集い

平成18年11月20日（月）
朝日新聞（日刊）京都版掲載

観劇がテーマのファッションを披露する高齢者モデル＝京都市国際交流会館で

ファッションへの関心を高め、高齢者の生きがいの一つにしてもらおうと、63歳～94歳のモデルによるファッションショー「生き生きシニア装いの集い」が19日、左京区の京都市国際交流会館で開かれた。東山、山科両区から集まった27人のモデルたちが、「日常の服装」をテーマに大学生と相談しながら仕上げた衣装を、約270人の観客に披露した。

「生き生きした高齢者になりたい」と、平均年齢65歳の京都山科ロータリークラブのメンバーが、高齢者の健康とおしゃれを研究している京都女子大学の泉加代子教授（被服心理学）に相談したことがきっかけ。モデルと同大学生たちが、7月から何度も顔を合わせて話し合い、衣装は学生たちがそれぞれの家にあった着物を仕立て直すなどして手作りした。

同大学4年の池田芽里加さん(21)は「おしゃれの話をする時はみなさん生き生きしています。会うたびにおしゃれになり、私たちもうかうかしていられないと思いました」と話す。

ショーは「朝のお散歩」「クッキング」「観劇」など日常生活のシーンで構成。モデルたちが壇上でターンしたり、客席に手を振ったりすると、歓声があがった。

最高齢の富田健三さん(94)は青を基調にしたゴルフウエアで登場。壇上でポーズを決めた後、趣味のグランドゴルフの素振りを披露した。「胸の緑のラインがお気に入り」と笑顔だった。

友だちと一緒に見に来た南区の村井一枝さん(77)は「すごく身近なショー。あこがれて見るだけでなく、実践的で良かった」と話した。

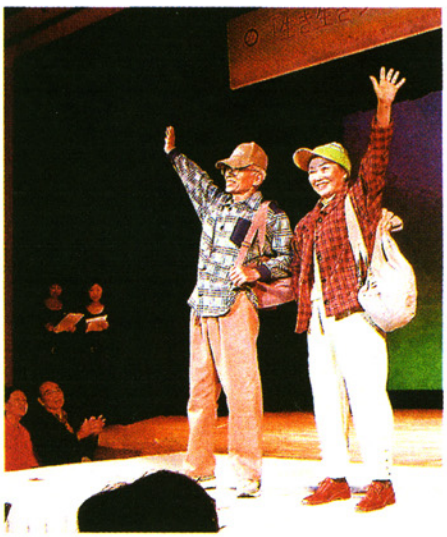
泉教授は「おしゃれで若々しさを取り戻すことには、感情が豊かになるなど介護予防の効果がある。多くの人に実践してほしい」と話した。

シニアもおしゃれに

左京で「集い」

ファッションショーや講演

94歳のモデル はつらつ登場



笑顔で会場にアピールするモデルのお年寄り（京都市左京区・市国際交流会館）

お年寄りが健康に暮らすため、おしゃれの楽しみ方を考える「生き生きシニア装いの集い」が十九日、京都市左京区の京都市国際交流会館で開かれた。お年寄り自身がモデルになったファッションショーや講演があった。

京都山科ロータリークラブ（小山信一会長）が企画。おしゃれをして健康的な気持ちで過ごし、介護予防につなげる研究をしている泉加代子・京都女子大教授が協力した。

モデルは東山区シニアクラブの有志ら六十三歳から九十四歳の二十八人。モデルの要望をもとに泉研究室の学生がデザインし、服を仕立てた。

ショーでは「朝の散歩」「ハイキング」など十二の場面に合わせた衣装を紹介した。好みの色や模様を取り入れた衣装を着たモデルたちは、緊張しながらもステージ上を笑顔で歩き、観客から声がかかると手を振ってこたえていた。

モデルで最高齢の富田健三さん(九四)＝東山区＝はグランドゴルフ用のウエアで登場。「好きな青色のラインも入っていい仕上がり。若返った気分」と声を弾ませていた。

平成18年11月20日（月）
京都新聞（日刊）地域面掲載

装いの心 シニアに元気

最高94歳 モデルに「すてき」

左京で着こなし提案

高齢者におしゃれな着こなしを提案するファッションショーが19日、左京区の市国際交流会館で開かれた。京都山科ロータリークラブなどが主催する「生き生きシニア装いの集い」の一環で、東山区と山科区の高齢者らで作るシニアクラブの約30人がモデルを務め、〈最先端のシニアファッション〉を披露した。

ファッションショーでは「クッキング」「旅行」「スポーツ」など様々な場面ごとの衣装を紹介。ジャケットやズボンから、車いすに座ったまま着られるウエディングドレスまで、この日のモデルたちが押し入れにしまいこんでいた着物や古着などを京都女子大学家政学部の学生らが約2か月かけて作り直したもので、会場の約300人からは「すてき」「私も着てみたい」という声援が飛んでいた。モデルの最高齢は94歳の男性だった。

ファッションショーに先立ち、京都女子大学家政学部の泉加代子教授が「シニアのおしゃれと健康」と題して講演。高齢者が化粧や着こなしを楽しむことで「表情が明るくなった」「ほかのお年寄りと交流が深まった」など「ファッション・セラピー」の効果を説明し、「ファッションがシニアを元気にすることを、多くの方に知っていただきたい」と呼びかけた。

モデルで参加した東山区の柊本貞子さん(72)は「ずっと着てなかった着物が、こんなにすてきなワンピースになるなんて。これからもおしゃれを楽しみたい」と話していた。

着物をリメークしたアンサンブルなどを着こなすモデルら

平成18年11月20日（月）
読売新聞（日刊）京都版掲載

広報に関しましては、
前日 京都版にて告知されました。
当日取材 KBSラジオ、毎日新聞
KBSテレビ
十一月十九日十七時四十五分
京都新聞ニュースにて放送。
京都新聞 二十日地域面
朝日新聞 二十日京都版
読売新聞 二十日京都版
以上に掲載されました。